

形成外科の対象となる疾患

【 傷痕(きずあと)】

疾患：肥厚性癬痕、ケロイド 等

症状：外傷の傷痕や、手術のあとが気になる。
傷痕にかゆみや痛みがある。

治療方法：傷痕の状態により、テープを貼付
または、注射にて治療をします。



*ケガや手術などでできた“きず”は、肌色に近くなり、きれいに治ることが多いですが、中には様々な原因で目立つ“きずあと”になることがあります。
きずあとが、“腫れて赤いままになってしまった” “痒くて痛みもある”といった症状が出た時は、受診してください。

診察日

毎月 第 1・3・5 木曜日

午前 9 時～12 時 30 分

担当医

信州大学医学部附属病院

形成外科 細見 謙登 医師

上記の疾患の他にも「できもの」「爪の疾患」「床ずれ」「眼瞼下垂症」「帯状疱疹」「うおのめ・たこ」「手指の関節痛」なども診察することが出来ます。

気になる症状がありましたら、お気軽に外来看護師、事務員にご相談ください。